



明けましておめでとうございます。令和になって初めてのお正月を、皆様どのようにお迎えでしょうか。昨年生涯学習課では寄贈された史料の整理、文化財ボランティア活動、中学生社会体験チャレンジ事業、などに於いて、少しずつではありますが内容の拡大・充実に取り組んで参りました。これらを踏まえて今年はさらに進展させたいと考えております。皆様には引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 「東洋のデンマークにしたい」

市制施行時、小中学生の考えた未来の越谷像

60年前の若人が将来の越谷をどう描いていたかを「広報こしがや」(昭和33年12月1日号)の中に見つけました。その要旨をご紹介します。

### 「安心できる生活・高い文化の越谷にしたい」 増林小学校6年 M.S.さん

- ・今日から『市民』だと思つと、背が高くなったような感じです。
- ・大きい台風が来ても家の中に水が入らないようにしたい。
- ・バスは中心部だけでなく、周りにも走らせない。
- ・毎年水泳でおぼれる人がいるので、各学校にプールがあるといい。
- ・各地区に1つ図書館を設け、幼い人から大きい人まで無料で本を読めるようになったらいい。

実現されたものもあるねえ。

すごいなあ！  
具体的なイメージで希望を表現していたんだね。



越谷特別市民  
ガーヤちゃん

### 「東洋のデンマークのような越谷に！」 東中学校3年 Y.K.さん

- ・舗装道路を増やしたい。雨でぬかるみ晴れば土埃の未舗装がなくなれば、衛生面でも産業面でも改善されるだろう。
- ・豊かな自然と農業を生かし、「東洋のデンマーク」として越谷を発展させたい。そして東京など大都会の人々の憩いの場にもなるといい。

今、私たちは半世紀先の越谷の姿をどのように見ているのでしょうか。60年ほど前、市制施行の頃は高度経済成長の時期でしたが、SNSなどを家庭や個人で使う現在のような便利さはありませんでした。けれども現状を踏まえた上で故郷の将来像を描いていたことがわかります。

市には多くの市史史料(古文書、近現代資料、2つの中村家住宅、民具、写真、発掘報告書、その他)が保存されています。またここ数年の間に新たに寄贈していただいたものもあります。市域にはまだまだ史料が残っています。私たちはこれらの調査や整理を行いながら、いろいろな機会を通して皆様方に紹介していきたいと考えております。



土の色の違いに注意して、水平に掘り進めます。

出土した遺物はすぐには取り上げません。その位置や深さを計測、記録してからビニール袋に入れます。

## 水平に掘るのは難しい

発掘体験をした中学生は異口同音にこのように言います。水平に掘っていくのは、遺構や遺物が現れた部分の深度や地層を観察して記録するためです。そのことで時代の特定期や検証ができるからです。

昨年11月20～21日には市立光陽中学校2年生の中学生社会体験チャレンジ事業(職業体験)活動として、東方西口遺跡(大成町)での発掘体験がありました。関心の高かった生徒の中から「この仕事に就くためにはどんな勉強をしたらいいですか?」という質問があり、考古学専門の職員は次のように応えました。



「皆さんが今回行ったのは発掘の過程のほんの一部です。発掘は準備から終了までいろいろな仕事があります。もちろん歴史の勉強はとても大切ですが、それだけでは発掘はできません。段取りや手順を考えたり、作業する人達とのコミュニケーションをとったり、測量したり、様々なことをします。皆さんは勉強や諸活動の好き嫌いをせずに、協同して作業を進めることも学んで下さい。このことはどのような職業にも言えます。」

## すばらしい感性！

小学3年生の中村家住宅での社会科見学は、越谷市立弥栄小学校、同 蒲生小学校、同 新方小学校、草加市立栄小学校が来館しました。いつも驚かされるのは感性の鋭さです。いくつかご紹介しましょう。

★**シェルターみたい！**・・・これは土蔵でのことです。職員から造りの特徴と用途が説明された時に発せられた感想でした。的を射ている表現です。

★**天秤棒の材料（木の種類）は何ですか？**・・・木の種類にまで関心を持って観察していたことが素晴らしいですね。わが国は四季の変化に富んでいるので、植物の種類も豊富です。古来、先人は木の種類によって用途を考えて用いてきました。



からの桶でも重いなあ

★**まさか、風をおこしてモミガラとお米を分けるなんて！**・・・唐箕を使う体験での感想です。コンバインという機械に取り込まれば“自然と”分けられてしまう現代の作業からは思いもよらないことだったのでしょ。

### 唐箕の体験



★**100年も前から使われてきたお屋敷なのに、床だけがもつ輝きをしていた**・・・襖の絵や意匠をこらした欄間よりも、黒光りする床に注目した9歳の眼、なかなかのものです。当館職員が毎朝雑巾がけしています。

★**昔と今では様子はまったく変わってないのですか？**・・・旧東方村中村家住宅でのことです。240年前に建てられたものとの説明

を聞き、当時の人が触れたかもしれない柱に触れたりしてその時間の流れを不思議に思ったのかもしれない。あるいはまた、今の周りの風景から昔の風景を想像しようとしたのかもしれない。

有難うございます

## 力をいただいています

旧東方村（レイクタウン）と大間野の2つの中村家住宅に来館頂いたお客様のお話しやご様子は、私共にとっても励みになることが多くあります。例えば次のようなことです。

【旧東方】・「住宅街の中にこんな古民家があるなんて。もっと宣伝した方がいいよ。」

・栽培していた綿の成長を何度も見に来てくださったお姿。

【大間野】・竈、煙道、煙突の仕組みの説明に感動されたご夫婦が、数日後にお礼の言葉をカードに書いて持参されたこと。

・杉並区の方で浦和美園からレンタサイクルで散策中にインターネットで当館を知って来館され、屋敷神の祠にも感動されていたお姿。